

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 2月15日放送分 京都にて - キラリと光る商店街を目指して

## 2月15日放送分 京都にて - キラリと光る商店街を目指して

2月15日 (TX・TVO)

16日 (TVA・TVH・TVQ・RCC)

17日 (BSJ)

消費の低迷、大型店の進出など全国の商店街は苦戦を強いられている。

京都の老舗商店街の一つ、堀川商店街(協)(出資金525万円、組合員35名)は、平安時代の陰陽師(おんみょうじ)・安倍晴明を祭る晴明神社が近くにあり、昨年からの陰陽師ブームで若者などの参拝者が増えていることに目をつけ、神社と提携し、商店街を晴明神社堀川参道とする構想を立ち上げた。

二条城と晴明神社を観光ルートにし、観光客を引きつけようと奮闘する商店街の取組みを紹介する。

### 京都にて - キラリと光る商店街を目指して

[視聴覚教材No. TV14-46](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



京都の堀川商店街から「小さくても良いからキラリと光る商店街でありたい」という手紙をもらった志垣さん。早速、商店街へ。

商店街には「印」や「晴明」の文字がたくさん。





なぜならば、ここ堀川商店街は本や映画で話題となった陰陽師、安倍晴明を祀った晴明神社のすぐ側にある商店街。商店街の歩道を晴明神社堀川参道と名付け、商店街の各店で安倍晴明のトレードマーク、印を使った様々なグッズを売り出している。

こちらが志垣さんに手紙を書いた堀川商店街協同組合の井上良之助理事長。メーカーの作ったものを売るだけではなく、小売店にはオリジナル商品を生み出すことが必要と、商店街の各店で安倍晴明の五芒星のトレードマークを使った商品を販売することを発案した。



POINT: オリジナルな商品を並べることが必要



井上理事長の店には書道の道具が充実。その上、安倍晴明のトレードマーク入り。大型店と競合しない商品構成を考えていると語る。

POINT: 大型店と競合しない商品を探す



晴明神社の禰宜、山口琢也さん。商店街が安倍晴明堀川参道と名乗るにあたり、参拝者の方に楽しみを提供するのはメリットがあることと、協力をした。



晴明神社のOKをもらった堀川商店街は、京都府の実施する「京の商店街 チャレンジ21」事業を活用し、観光マップなどを作成して堀川参道のPRを実施した。



商店街では大勢の人を喜ばせるために色々な催しを開催している。今日は丁度、新春餅つき大会の日。こういった催しを通じて、「手のぬくもりでお客様とつながっていく」と井上理事長は語る。

POINT: 手のぬくもりでお客様とつながる



お客様とのつながりを示すものの一つがこの「出来るンカレンダー」商店街の店にしかできないサービスをまとめてある。



おもちゃのきだの店主、貴田さん。高齢化

した地域のためにおもちゃ屋に何ができるかを考え、お年寄向けのシルバー商品の取扱いを始めたという。「それで商店街は生き残って行けると？」と尋ねる志垣さんに「行きます！」と力強く答えた。



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN